

# チャペル週報

No. 28

2013.1.7 ~ 1.11

わたしはモーセと共にいたように、  
あなたと共にいる。  
あなたを見放すことも、見捨てることもない。

(ヨシュア記1章5節)



神戸三田キャンパス I号館

関西学院宗教センター

---

☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

1月7日(月) 神 中 村 和 光 (神学研究科M2)  
経 舟 木 謙 (宗教主事)  
人 信 山 梓 (人間福祉学部4年)  
聖和 「新しい年を迎えて」 小 見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)

---

1月8日(火) 神 公現日礼拝 中 道 基 夫 (神学部教授)  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 福島からのメッセージ 片 岡 自 由 (会津放射能情報センタースタッフ)  
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)  
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)  
商 山 本 俊 正 (宗教主事)  
国 伊 藤 正 一 (国際学部長)  
聖和 芝 田 正 夫 (教育学部長)  
総 細 見 和 志 (総合政策学部教授)

---

1月9日(水) 阪神・淡路大震災メモリアル・合同チャペル (西宮上ヶ原)  
ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)  
聖和 「学生生活を振り返って」 教育学部4年生  
理 新年礼拝  
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)

---

1月10日(木) 神 島 田 尚 美 (神学部3年)  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 学年度末にあたって 荻 野 昌 弘 (社会学部長)  
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)  
経 経済と倫理② 舟 木 謙 (宗教主事)  
商 海 道 ノブチカ (商学部長)  
国 Eun Ja Lee (宣教師)  
聖和 「東北ボランティアに参加して」 金 川 咲 穂 (保1) 河 野 美 樹 (保1)  
総 気仙沼大島ボランティアツアー (第13回) 参加学生

---

1月11日(金) 院 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)  
神 <震災を覚えて⑨> 神学部メガホンプロジェクト  
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)  
経 卒業生を覚えて 利 光 強 (経済学部長)  
人 牧 里 毎 治 (人間福祉学部長)  
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)  
理 秋学期最終礼拝

---

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)

1月11日(金) 新年を迎えて、卒業する学生のために 井 上 琢 智 (学長)

---

# 新年を迎えて

永 田 雄 次 郎

新しき 年の初めの 初春の 今日降る雪の いやしけ 吉事

『万葉集』は、この 4516 番目の大伴家持の歌をもって終わる。「新しき」はアラタシキと読み、アタラシキでは意味をなさないと教えられたことを思い出す(蛇足です)。雄略天皇の「籠もよ み籠持ち」に始まり、有馬皇子、柿本人麿、大伴旅人、「東歌」の作者の歌など充実した歌集の最後を、新年を迎え、白雪に託した幸多き将来を冥の人々と祝い、祈る歌で飾ることは興味深い。過去を尊び、新たな時に立って希望を祈っている。見事な閉じ方である。

私たちが新しい年を迎えている。『万葉集』に倣って、過ぐる一年を思い出し、新年の希望の祈りを持って、2012 年を締め括ることはできないのだろうか。一年を思い返し、その楽しみ、苦しみ、悲しみなど手ごたえある過去を素直に受け容れ、今ここにあることに感謝しつつ、新たな年の初めに「今年を良きものにしよう」と、将来に向けて心から祈ることも希望を生み出すに違いない。同時に、これは過ぐる年に対するすばらしい完結の仕方でもある。

何を根拠にして希望を祈ることが可能なのか。現世的利益のみを求めることが希望なのか。希望は自分だけのものであるのか。その方法で 2012 年をうまく完結できるか。さまざまな疑問も生じてきた。

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙 12-15)」の有名な聖句が頭に浮んだ。「そうだ、皆で心をつにして希望を祈るのだ。皆のために希望を祈るのだ」と思い、大伴家持の歌も人々のために希望を祈るからこそ説得力を持っているのだと悟った。

希望とは何か。それを解く鍵は、手ごたえある過去を直視し、そこから引き出される生きる意味を人々が心をつにして探り当てる知性、感性、霊性にあるのではないのだろうか。

2012 年、うまく完結できそうですか。

(文学部教授)

●**阪神・淡路大震災記念合同チャペル（17周年）**

と き：2013年1月9日（水）10:35～11:05

ところ：ランパス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

●**チャペル・オルガニスト卒業演奏会**

各学部チャペルをはじめ各種式典などでオルガン奏楽を務めるチャペル・オルガニストから今年、7名が関西学院大学を巣立ちます。それぞれの学生時代の思い出を胸に、これまでのレッスンと練習そしてチャペルでの経験すべてをこの日の演奏に託します。

どうぞご来場いただき、学生時代最後の演奏に拍手をお願いいたします。

と き：3月2日（土）14:00～

ところ：ランパス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

●**大阪梅田キャンパスチャペル**

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを実施しています。（18:00～18:20 1405教室）

1月11日（金）樋口 進（宗教センター宗教主事）

1月18日（金）Andreas Rusterholz（文学部宗教主事）

●**CD・DVDライブラリー**

吉岡記念館事務局宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。（学生証等証明書必要）

●**使用済み切手収集にご協力ください**

本学では日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●**盲導犬育成のためご協力お願いします**

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務局はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

\*\*\*\*\*

今号が本年度「チャペル週報」の最終号です。2013年度は4月8日（月）号からの発行となります。新年度のチャペルや宗教センター、宗教活動委員会、吉岡記念館主催の催し物などのご案内をしております。また感想欄では、教職員の方々によるメッセージやエッセイを掲載しますのでご期待ください。